

朝の館内放送

平成30年10月1日
スピーカー 市長

みなさん、おはようございます。
市長の中村健です。

10月7日に、西尾コンベンションホールが正式にオープンします。

名鉄西尾駅界隈における新たな賑わいと交流を創り出す施設として、大いに期待される所であり、ひいては中心市街地の活性化に繋げていきたいと考えています。

利用料金については、やや値が張りますが、みなさんも自分自身が仕事やプライベートで所属する組織・団体で何か催しをする際には、利用を検討してもらえればと思います。

さて、西尾コンベンションホールが位置する場所は、かつて「芝生広場」として多くの方にご利用いただいていた。

しかし、駅前の一等地であることから、より有効な利用をということで、コンベンションホールやビジネスホテルの整備を推奨した利活用方針を市の方で定め、事業者の募集を行いました。

これに応じていただいたのが、地元企業によって出資され組織された、株式会社西尾駅西開発で、このことは、西尾のまちづくりを考えていく上でとても意義の大きなことだと考えています。

また、これとは話が変わりますが、地元の商店主のみなさんの発意により、中心市街地活性化を目的としたまちづくり会社が年内に立ち上がる見通しです。

空き家・空き店舗の再生を含め、中心市街地の衰退を食い止めるべく、期待される役割は決して小さなものではありません。

以上のように、西尾市には、地元を盛り上げたい、西尾市を盛り上げたいと本気で思ってくれる、民間の方々がたくさんいらっしゃいます。

そして、私たち行政職員に求められる役割も、これまでのように補助金を支給することによる下支え中心の支援のあり方から、公益性を担保しつつ、規制を緩和していくことで民間の活力を活かす方向へと変わってきます。

朝の館内放送

厳しい財政状況の中、お金は出せない、知恵も出さないという姿勢ではなく、お金は出せなくても、知恵を出し合って新しい芽を育てる、そのような西尾市でありたいと思います。

今日から10月、今年度も後半へと入り、来年度の予算編成作業もスタートします。

各部、各課においては、業務の効率化、市民サービスの向上といった観点から、民間の知恵やノウハウを活かした積極的な提案を期待しています。